

《金目の遺産 明日につなぐ》

金目エコだより

発行日 令和4年1月1日
 発行者 金目エコミュージアム広報委員会
 連絡先 平塚市立金目公民館内 ☎58-0101
<http://hiratsuka.johokyoyu.net/area/kaname>



新年を迎えて

金目エコミュージアム会長 米村康信

金目地域および金目エコミュージアム会員の皆様方におかれましては穏やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

金目エコは、今年の6月で創設15年を迎えます。これも皆様の金目エコ活動に対するご理解と暖かいご支援とご指導の賜物と、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は一昨年に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域の皆さんが楽しみにしていた金目エコの5大事業、また特色ある各グループの事業活動が残念ながら中止、あるいは開催規模縮小となって不完全燃焼で終わりました。

本年はこの2年間の不完全燃焼を糧として、また創設15周年を起爆剤として、更なる金目エコの発展および地域の皆さんとともに「住み良い金目のまちづくり」に貢献して行きたいと考えています。

ぜひ、本年も皆様のご協力を宜しくお願い致します。

博物館見学実習と金目エコミュージアム

東海大学教職資格センター 江水是仁

博物館の専門的職員である「学芸員」の資格を取得するための課程が東海大学にはあります。課程では、地域社会における様々な現代的課題に対応できる能力を修得するためのカリキュラムが組み立てられており、その一つに金目エコミュージアムの見学実習があります。

金目地域住民が中心となって、金目地域の魅力を高め、自分と地域とのつながりを再発見し、その成果をもとに未来の地域づくりに思いをはせることは、まさしくこれからの博物館が果たすべき役割そのものであると考えます。

金目エコミュージアムの見学は、学芸員を志す学生にとって、地域住民主体の博物館活動の実態を理解する格好の機会となっており、大きな学びをもたらしています。また、初めて金目を歩く学生も多く、ガイドの方との交流もとても感慨深いものとして受け取られているようです。

まちを歩き、世代を超えて交流する楽しさを、身をもって経験することは、学生だけでなく、金目エコミュージアム関係者の方々にも有益な機会をもたらしているものと確信しております。

これからも、お互いにとって有益な機会となりますよう、ご指導・ご協力賜れますようお願い申し上げます。

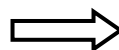


実習中の学生(3.11.20)

【写真で見る金目の今昔】



大堰（金目川堤と県道の交差する所に大堰がある）
 撮影 S29年頃 提供（故）齋藤 豊氏



現在

県立平塚盲学校で出前授業！

県立平塚盲学校の生徒に、校主秋山博先生の活躍した”金目”はどのような所か知ってもらい、秋山博先生とその生徒、学校関係者が努力、苦勞した明治・大正の時代が少しでも理解して頂きたく、金目の自然を味わってもらいました。

昨年9月30日(木)10:30より学校内の会議室から各教室に画像を送るシステムで全校生徒42名が参加して行われました。

普段のガイドと違い、どう表現したらよいか不安でしたが、少し目の見える方もおられるので画像と音を中心に説明、紹介しました。金目から刈り取ったばかりの稲穂をもっていきましたところ、手で触り、匂いを嗅いで、土の匂いを感じ取り、耳と鼻で感じようとする姿を見て私たちの表現の仕方にも参考になりました。

紹介の内容は、『ようこそ金目』(金目の紹介)、『金目観音と水琴窟』、『金目川のせせらぎ』『秋山博が眠る寂靜寺』でした。

なお、当日の様子はタウンニュース(平塚版=10月7日号、No.1744)で記事になり、またtvk(テレビ神奈川)(12月10日18:00~NEWSハーバー)で放映されました。(ガイドG 小宮和嵩)



ふれあいサロンでガイド！

11月23日(火)13:30より真田自治会館にて、金目エコガイド会員が真田・北金目の歴史についてガイドしました。古代遺跡調査で北金目神社の東から古代軍隊跡が見つかった話、鎌倉幕府ができるきっかけを作った真田與一、陶山文三、腰巻文六、など武将の話、明治初め、金目村の私塾が真田学校として天徳寺内に新設され後に金目小、大根小、比々多小として近代日本の初等教育に大きな役割を果たした話など、興味深いものでした。

「是非うちの地区の歴史ガイドもしてほしい」と早速依頼する方もいました。エコでは金目地区の歴史・文化紹介、ガイドをしていますのでご希望の団体は金目公民館(電話58-0101)までご連絡ください。(広報委員 國近素子)



真田学校跡(天徳寺境内)

秋の朝市を開催！

11月6日(土)8時30分より金目ふれあい広場にて本年2回目の朝市を開催しました。当日は、皆の思いが叶うような秋晴れの天候であり、開催開始前には10名ほどの来場者があり、地域住民への朝市の認知度が深まっていると感じました。

秋の朝市には、秋野菜のほか、出品の目玉として富有柿があり、これを目当てのお客様が多数見られ、途中で売り切れになり、柿畑に収穫に行き対応しました。

出店者が6店舗と品種・数量とも不足がみられ、お客様の要求を十分満足させることができる取り組みの必要性を感じました。来場者との会話の中では、相互とも「人とかかわりを」楽しんでいる様子があり、今後も地域との交流の場を企画し、地域の活性化につなげたいと思いました。(農・食文化G 橋本進)



きらりの生徒と柿狩り！

11月18日は柿畑の隣の神奈川県立子ども自立生活支援センター(きらり)の生徒を招待しての恒例の柿狩り。子どもたちが大きく、赤く実った柿を取ろうとワイワイ、キャーキャーうれしそうな歓声が秋の空に響いていました。

金目エコ農・食グループは2019年1月から柿畑を借り受け、柿塾の活動を始めました。450坪の畑に50本の富有柿が植えられています。初年度は農業技術センターの専門家を講師にお呼びしての剪定作業でした。それ以降毎年不要な枝、残す枝に悩みながら、5月には摘花、6月に摘蕾、そして4回の消毒散布、暑い夏の草刈と思った以上の重労働でした。その結果、今年も甘い柿が沢山実りました。(広報委員 片倉徳広)



お知らせ

川前ふれあいサロン	2月11日(金)	川前会館
北金目神社俳句奉納額展	2月19日(土)~23日(水)	金目公民館
金目公民館ふれあいまつり	2月26日(土)~2月27日(日)	〃
秋山博墓前祭	3月21日(月=春分の日)	寂靜寺
秋山博資料展	3月19日(土)~3月21日(月)	金目公民館

(新型コロナウイルスまん延防止のため中止・延期となる場合もあります)